



→小学生3人を相手に、小太刀二刀流で孤軍奮闘する吉田さん。相手はセオリーなど無視して、どこからでも掛かってくるから手強い。足など叩かれると相当に痛い。

↓道場への入会は8000円、月謝7000円。道具一式も、剣道と比べると胸がない分ぐつと割安。OLや主婦も通っている。



趣味のホームビデオ講習会に出掛けたおり、なにげなく手にした2枚のパンフレット。一枚は『般若心経』、もう片方には『護身道』とあった。

「で、護身道のほうを覗いてみますとね。なんと、やっていたのはチャンバラごっこじゃないですか。誘いに乗って、その場で飛び入りしてみると、これが面白い。気がついたら子供みたいにハシヤい太刀を振っている

4年前のたまの休日、趣味のホームビデオ講習会に出掛けたおり、なにげなく手にした2枚のパンフレット。一枚は『般若心経』、もう片方には『護身道』とあった。

それより吉田さんの人となり語るのには、子供たちからも慕われて、道場では「忠ザエモン」で通っていること。槍を持たせると、見るからに強そうな若者でもタジタジだ。「勝負は、たとえ相手が女子供でも手加減はせず、叩かれたら自己申告で素直に負けを認めるというルールが、このスポーツチャンバラのいいところでしょうね。といつても、ちよつと油断すると女子供にも負けてしまう。そこがまた面白いところだして」

→会社で部下にもやらせようとしたら、「趣味でやってるんでしょ、それなら黙っておやりなさい」と奥さんに諭されたとか。



東急東横線渋谷駅のプラットホームに立つと、目の前のビルに『スポーツチャンバラ』という看板が見える。いわゆる団塊の世代以前の男たちにとって、この『チャンバラ』という響きには、どこか懐かしさがあるに違いない。バブルの波に乗り、大手ゼネコンの関連企業としてアルミ建材の販売会社を経営してきた吉田さん。

正式には、全日本護身道連盟・国際スポーツチャンバラ協会の田淵道場に入会した。会社からもそんなに遠くない渋谷駅前を選んだ。「それで、毎週木・土の2日、なんとか時間をやりくりして通っているんですが、稽古中に携帯電話が鳴ることもしょっちゅうです」

## 子供相手でも手は抜かぬ 忠ザエモンは真剣でござる

### スポーツチャンバラ

吉田忠彦

62歳

自分にニガ笑いしまして。元來が単純な性格だから、お経はやめて、すぐ入会手続きをとりまして……」